

# 令和3年度学校自己評価システムシート (県立朝霞西高等学校)

目指す学校像	伸びる朝西 伸ばす朝西 ～確かな学力と豊かな心を育み、君の夢を応援します～
--------	--

重点目標	1 質の高い授業を展開し「自ら考える力」を育み、学習習慣を確立させる。 2 進路目標を早期に持たせ、多様な進路希望を実現する。 3 規律の順守と学校行事や部活動を通じて、誇りと自信を持たせる。 4 教育活動を保護者・地域に広く開き、信頼される学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善を進め、学習意欲を向上させ、「自ら考え、学習する力」を育む取り組みをさらに進める必要がある。</li> <li>また、観点別評価の研修に組み入れ、評価に活かし、理解度、満足度を伸ばす必要がある。</li> <li>新教育課程を完成させ、他分掌との連携をすすめて学校運営、生徒の学習環境の整備に資する取り組みを進める必要がある。ITの活用を推進し、働き方改革や教員が生徒に対峙できる時間の確保につなげられるかを検証する必要がある。</li> </ul>	①授業研究を各教科及び教科横断で実施し授業改善を進める。令和4年度から始まる観点別評価の研修を行い、主体的な学びの実現を進める。 ②他分掌との連携を図り、年間の学校行事に活かし、魅力ある学校作りの推進を進める。校務におけるITの活用を進める。	①観点別評価の研修会、教科会を通して授業改善にむけて検討を進める。その際、授業理解度と成績、評価の関連に配慮し、学力とともに達成感が得られる工夫を進める。合わせて授業評価アンケートにより、検証を行う。 ②新教育課程を5月までに完成し、目指す学校像を具体化する。分掌、学年間の連携を深め、豊かな心の育成につながる行事を構築する。現在ITの活用は校務の成績処理が中心であるが、HRや授業においても活用を進める。	①授業改善の研修会、観点別評価の研修会後により、生徒が主体的に学ぶ姿勢が育成できたか。理解度、満足度等を授業評価アンケートにより検証し成果を確認する。 ②分掌学年間の連携により行事の精選、生徒の満足度が高まったか。IT活用の推進により学校行事、HR、授業で活用どの程度活用できたか。IT活用が働き方改革、教員が生徒に向かう時間の確保につながるかを検証できる事例を収集できたか。			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な進路希望に対応するため、きめ細やかな指導を行っている。</li> <li>保護者に向けて「学年ごとに進路だよりを定期的に発行」「HPに進路行事を随時掲載」「重要な連絡は一斉メール配信」をしているが、一部の保護者に進路情報が伝わっていない状況がある。</li> <li>将来を見据えた堅実な進路選択の促しと、より高い目標への挑戦に向けた意欲の喚起、行動への促しが課題。</li> </ul>	①進路意識の向上を促し、個々の成長に繋がる具体的な目標設定や選択を支援する。 ②第一志望に向けた自発的継続的な行動を促し、実現できる学力の育成を行う。	①探究の時間を活用し、生徒主体型「イグニス」を計画・実施する。 ①3年間を見通した進路指導を体系化し、指導方法の共有化を図る。 ②到達度テストをベースとした「ステップ」の活用を促し、家庭学習時間を増やす取り組みを構築する。 ②模試を同じ業者で統一し、分析できる環境を整える。また、教室でも模試分析ツール・コンパスを使える環境を整える。	①グループワークや発表といった生徒主体の時間がとれたか。 ①3年間を見通した指導内容を可視化し、その都度指導の位置づけを確認・共有できたか。 ②到達度テストの連動課題の取り組みが昨年度より増加したか。 ②三者面談等でコンパスを活用してきたか。			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上を背景に、秩序と規律ある学校作りは飛躍的に進んだ。それを、生徒自身が誇りとし自覚的に継承していくものにまで高め、本校の特色・校風としたい。</li> <li>同時に、上記の到達点を基盤として、学習活動・生徒会活動・部活動などの学校の諸活動の一層の充実を図り、生徒の自主性や自律性、コミュニケーション能力、自己肯定感、他者・社会との関係における主体的意識などを育み、真に「社会で活躍できる人間の育成」を図れる学校としたい。</li> </ul>	①生徒指導に関する教職員の共通理解と組織的な取り組みで、生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。同時にそれが生徒自身の自覚的な取り組みとなるように工夫する。 ②学校行事・生徒会活動・部活動などをますます充実・活性化させて、生徒が自分で考え、行動し、活躍し、自分に自信をつけていく機会・場とする。	①年度当初に、学校・学年の指導方針を明確にし、また情報交換を密にして、適切・丁寧な指導を展開する。 ①8時35分前登校＝教室着席指導を、規律指導の基軸・重点的指導課題として継続する。 ①登下校時の身だしなみ、歩きスマホなどの指導にも取り組む。 ①個々の生徒の指導に当たっては、生徒の話をよく聞く。考えさせる。問題を生徒自身の課題として自覚させる。 ②学校行事や部活動に全力で取り組ませ、学校生活の充実感や満足感を高める。 ②生徒会活動における昨年度のさまざまな画期的な活動を定着させ、発展させていく。	①教職員の共通理解を深め、組織的な取り組みをする体制を作れたか。 ①基本的に遅刻がほぼない現状を維持したか。 ①登下校時の身だしなみ、歩きスマホなどの状況を改善できたか。 ①生徒の意識に、自ら規範を守り、自らを律しようという自覚を育てたか。 ②部活動に多くの生徒が積極的に関わり活躍し、また結果を残したか。 ②学校行事・生徒会活動に多くの生徒が自覚的に・意欲的に参加したか。 ②学校生活アンケート等で高水準の生徒の満足度を得たか。			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP、週報、学校案内等を通じて生徒・保護者・近隣地域、各中学校などに本校の活動内容を広報している。</li> <li>朝西見学会、部活動体験会については、より効果的に実施できるよう内容を見直して実施していく必要がある。</li> <li>新型コロナウイルスの終息が見えない中で従来通りの広報活動が難しくなっている。この状況下で効果的に行える方策を検討し実施する必要がある。</li> </ul>	①本校の教育活動や活動の成果を広く広報し、各方面の本校への理解を深める。 ②本校志願者のニーズをとらえ、必要な時期に必要な情報を提供する。	①HPの内容を精査し、より閲覧者のニーズに応える内容、速報性の高い内容に改善する。 ①週報は、デジタル化も視野に入れ現在にふさわしい在り方を検討する。 ②感染症の蔓延により朝西見学会ができなくなる可能性を考慮し、学校紹介動画等の充実を図る。 ②新入生にアンケートを実施し、管理職と連携して分析、生徒募集に活用する。	①HPの環境を維持し、適切に運用できたか。 ①週報を適切に発行できたか。また充実した内容とできたか。 ②見学会を感染症拡大防止に配慮した形で適切に実施できたか。参加者アンケートの満足度80%以上。 ②動画等の作成・活用により学校紹介の充実が図れたか。 ②新入生へのアンケート結果を分析し、生徒募集に有効に活用できたか。			

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	令和	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			